

2013 年家政学原論部会 夏期セミナー・総会プログラム

～ご案内～

下記の通り、2013 年家政学原論部会夏期セミナー・総会を開催いたします。

多数の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

夏期セミナー統一テーマ：

家政学の未来を創る

—家政学原論の新たな指標をめざして（2）「行動計画」中間年—

日 時：2013 年 8 月 19 日（月）13：50～8 月 20 日（火）16：10

会 場：金城学院大学 W9 号館 4 階（〒463-8521 名古屋市守山区大森 2-1723）

参加費：部会員 3,000 円、学生会員・学生 1,000 円、非部会員 4,000 円

一般社団法人日本家政学会 家政学原論部会

【問い合わせ先】家政学原論部会夏期セミナー事務局
金城学院大学生活環境学部
生活マネジメント学科 中森研究室
〒463-8521 名古屋市守山区大森 2-1723
Tel：052-798-0180（代表）
Fax：052-798-0370（生活環境学部）
e-mail：genron.seminar2013@gmail.com

<趣旨説明>

「家政学原論部会行動計画（2008－2018）」中間年を迎えた。家政学原論部会 50 周年まであと 5 年ということになる。まさに半世紀にわたる家政学原論部会の歴史をふまえ、「家政学原論の新たな指標づくり」の 5 年間になる。そして、同時に「家政学の未来をつくる」ための 5 年間となることを期待している。

2013 年夏期セミナーでは、「行動計画」前半の成果と課題の確認および後半スケジュールの見直しを目的とする。これは、当初の「行動計画」検討スケジュールに予定されていたものである。10 年間という長期にわたる行動計画であるため、中間年での総括が必要とされた。

行動計画は、4 つの研究グループに分かれて検討されている。第 1 グループは、「家政学的研究とは何か」をテーマとし、2013 年 5 月に「家政学的研究ガイドライン」第 1 次案を公表した。第 2 グループは、「家政学原論の歴史と現状」をテーマに、地道な調査研究を継続している。第 3 グループでは、「家政学原論の授業実践」をテーマに、家政学原論のテキスト作成を目的とした授業実践の収集と分析に取り組み、2012 年に『家政学原論』授業実践報告集をまとめた。第 4 グループでは、「家政学・家政学原論における連携・社会貢献」をテーマとし、2011 年 3 月に「国連ミレニアム開発目標 2011 ポジションステートメント 国際家政学会」を翻訳・刊行した。これら各グループの研究成果を共有し、さらに、「行動計画」に掲げた目標達成に向けて大いに議論したい。

折しも、2013 年 5 月に、日本家政学会「家政学の質保証委員会」と日本学術会議から、「家政学分野の参照基準」が公表された。あらためて「家政学と何か」が問われている。このような時宜を得て、「家政学の研究と教育」に理論的および実践的に取り組む「行動目標」の企画と成果は、家政学原論が「家政学の未来」に貢献する取り組みといえよう。

<プログラム>

8月19日（月）

- | | | |
|-----------------|--------------------------------------|----------------------|
| 13 : 30 | 受付 | |
| 13 : 50 | 開会の辞・趣旨説明 | [部会長] 中森 千佳子（金城学院大学） |
| 14 : 00－17 : 00 | 行動計画研究グループ分科会 | |
| | ○第 1 グループ「家政学的研究とは何か」 | |
| | [進行] 第 1 グループ研究リーダー 東 珠実（相山女学園大学） | |
| | ○第 2 グループ「家政学原論の歴史現状研究」 | |
| | [進行] 第 2 グループ研究リーダー 石渡 尊子（桜美林大学） | |
| | ○第 3 グループ「『家政学原論』の授業実践研究」 | |
| | [進行] 第 3 グループ研究リーダー 八幡（谷口） 彩子（熊本大学） | |
| | ○第 4 グループ「家政学・家政学原論における連携・社会貢献」 | |
| | [進行] 第 4 グループ研究リーダー 倉元 綾子（鹿児島県立短期大学） | |
| | ○「家政学分野の参照基準」検討グループ | |
| | [進行] 部会長 中森 千佳子（金城学院大学） | |
| 17 : 00－18 : 00 | 交流会 | |
| | 第 17 回 ARAHE 国際大会報告 | 表 真美（京都女子大学） |

8月20日(火)

9:10-9:50 総会

9:50-10:20 わたしの家政学原論〈シリーズ9〉 福田 はぎの 氏 (文教大学)

10:20-12:00 研究発表 (発表20分、質疑5分)

[座長] 尾島 恭子 (金沢大学)

10:20-10:45

1. 「今和次郎の『生活学』」の構想: シティズンシップ教育への可能性の検討

野崎 有以 (東京大学大学院教育学研究科)

10:45-11:10

2. 「ブータン王国における家政教育」 峠 小百合 (熊本大学大学院教育学研究科)

[座長] 川上 雅子 (共立女子大学)

11:10-11:35

3. 「家政学におけるくごども」

花輪 由樹 (京都大学大学院人間・環境学研究科)

11:35-12:00

4. 「ワーク・ライフ・バランス実現に向けて—生活福祉の視点からのアプローチ—

花崎 正子 (近畿大学九州短期大学 (非常勤講師))

12:00-13:00 昼食

13:00-16:00 行動計画中間年報告

[進行] 行動計画推進委員長 井元 りえ (女子栄養大学)

13:00-14:20 「行動計画」研究グループ報告

○第1グループ「家政学的研究とは何か」

第1グループ研究リーダー 東 珠実 (相山女学園大学)

○第2グループ「家政学原論の歴史現状研究」

第2グループ研究リーダー 石渡 尊子 (桜美林大学)

○第3グループ「『家政学原論』の授業実践研究」

第3グループ研究リーダー 八幡 (谷口) 彩子 (熊本大学)

○第4グループ「家政学・家政学原論における連携・社会貢献」

第4グループ研究リーダー 倉元 綾子 (鹿児島県立短期大学)

14:20-14:30 休憩

14:30-15:00 「家政学分野の参照基準」に関する報告

[部会長] 中森 千佳子 (金城学院大学)

15:00-16:00 家政学原論部会50周年(2018年)に向けての課題とスケジュール(討論)

16:05 閉会の辞 [新部会長]

以上

<会場校交通アクセス>

- 名古屋駅から ①地下鉄東山線・藤ヶ丘行に乗車し、「栄」駅で下車、名鉄瀬戸線に乗り換え。名鉄瀬戸線「栄町」駅から尾張瀬戸行方面に乗車、「大森・金城学院前」駅で下車。徒歩5分程度。
- ②JR中央線で「大曽根」駅下車、名鉄瀬戸線に乗り換え。新幹線ご利用の場合は、「大曽根」駅経由が便利。
- 大曽根駅から 名鉄瀬戸線・尾張瀬戸行方面に乗車し、「大森・金城学院前」駅で下車。徒歩5分程度。
- 栄駅から 名鉄瀬戸線「栄町」駅から尾張瀬戸行方面に乗車し、「大森・金城学院前」駅で下車。徒歩5分程度。
- 新瀬戸駅から 名鉄瀬戸線「栄町」行に乗車し、「大森・金城学院前」駅で下車。徒歩5分程度。

◆会場案内図



◆構内案内

